

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこクラブ若久		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定着率が高く、長く在籍しているスタッフが多くいるので、熟練したスタッフの配置人数を多く配置しています。これにより児童の特性に応じた個々の支援を提供出来ている。	熟練の職員がいる事で子ども達個々の特性を活かせる場面の提供が出来る。オンラインで各施設の子も達が職員と一緒に、多彩なイベントで連帯感や交わりを考えライブ番組を行っている。個人個人の力を発揮出来る内容を提供しながら、自己肯定感を高め、自信をつけさせるような取り組みを行っている。	各児童の個性や特性を活かせる環境作りをより充実させるため、どのような支援や関わりが適切かを職員間で検討していく。その際、熟練職員の経験や視点を活かしながら、具体的な場面設定や支援方法について議論出来る体制作りを進めていく。
2	年齢や成長に応じた対応を行っている。高学年・中高生を専門としたたけのこクラブも設立しており、各事業所には中高生だけでコミュニケーションを取れるような専用の部屋も用意している。自立を目指したトレーニングにも着目し実施している。	中高生や高学年の活動として、移動支援(バスや電車)、生活に必要な訓練(衣食住)、食育などで自分で調理できるような見守り支援、将来社会に出る事、進学を見据えた活動の取り組みを強化し、自立性を育てている。食育などでは調理をする工程を子ども達自身で行い、成功体験を積み、自身の経験に繋げていく取り組みをしている。	どんたく演舞台(ダンス)、スポごみ、バザー、ゴミ拾い等のボランティア活動など、たけのこクラブ内から地域(福岡市内)への活動を増やしていく。幅を広げて、より社会に近づけるような活動の機会を充実させていく。
3	外部講師による、保護者や児童の相談対応、職員の教育・指導等を毎月行い、事業所の職員全体で共有し、支援に繋げている。	モニタリングや担当者会議、その他随時行っている電話や対面での相談事などを拾い上げ、療育会と言う形で外部の専門家に相談出来る環境を作っている。	送迎時の対面や保護者との日常会話の中にある、表面化していない相談や困り事についても見逃さないよう、職員間で共有、深掘り出来る体制作りを行い、よりきめ細やかな支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域行事には少しずつ参加しているが、住民との交流などを考えるとまだまだ足りない事があり、取り組めていない状況。	幅広い地域がある為、地域交流と言っても広い範囲となる。また地域交流に対して保護者や子ども達のニーズがどこまでなのかを拾いあげ出来ていない現状もある。	まずはニーズを拾いあげ、ニーズにあった地域交流から始めていき、必要なものが何かを情報収集していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	
------	--

公表日 2026/3/25

利用児童数 37

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> 皆でダンスや卓球が出来るくらい広いです。 満足しています。 入ったことがないが、玄関で拝見した時は広さはあった。 	1階と2階とで分けて活動しています。1人1人が広く活動できるように今後も努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> いつも先生が沢山いらしゃいます。 満足しています。 	利用人数に応じた職員を適切に配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	96%			8%	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化されてるかわかりません。 バリアフリーや床にクッション素材、階段には滑り止め、絵とひらがなで分かりやすく案内などあります。 トイレは見た事ありませんが、生活空間は綺麗に保たれていると思います。 	児童の安全を最優先に考えつつ、あらゆる特性、症状の児童に安全に対応できる空間を作っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> 自由に遊ぶ所、ゆっくりしたい所、お勉強する時、きっちりとした空間になってます。 満足しています。 	利用児童が快適に心地よく過ごせるような環境作り、そして活動に合わせた空間作りを心がけてます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> 先生がしっかりと見てくれているので、少しの心身の変化に気付いてくれます。 満足しています。 	子ども1人1人に対し深い理解をしていく事に努めており、その上での支援を行っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> 合ってると思います。 満足しています。 	公表する内容と実際行う内容は齟齬が無い様に支援を行なっていますので、今後も尽力していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの事、保護者の心身の心配など、いつも気にかけてくれて計画作成されていると思います。 満足しています。 	個別支援計画を作成するに辺り、事前の入念なアセスメントを元に行っています。職員とも情報共有、協議を重ねて作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> 子どもの得意なこと苦手なことも寄り添った支援になってると思います。保護者や兄妹などの支援など内容がしっかりしています。 満足しています。 	本人、保護者、先を見据えた支援を加味して支援内容を設定しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none"> 満足しています。 	放課後等デイサービス計画に基づいた支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが好きなプログラム、外活動、食育などにも力を入れてくれています。 満足しています。 	児童のニーズに合わせたプログラムや、ライフスキルとして食育の中でも自分で出来る事にチャレンジするような工夫しながら取り組んでおります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	56%	8%		36%	<ul style="list-style-type: none"> 5年は家族と一緒に参加するゴミ拾い活動、ハザーなど地域交流が盛んに行われてました。 今年始めに「どんど焼き」に参加して、その時は地域交流できたと思います。 	昨年は地域交流としてスボゴみやハザーなど取り組んでます。保護者や児童への呼び掛け、告知などで幅広く周知出来るような展開をしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> 丁寧にわかりやすく説明がありました。 	しっかりと説明をさせて頂いています。質疑なども対応させて頂いています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96%	4%				しっかりと説明をさせて頂いています。質疑なども対応させて頂いています。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	84%	4%	4%	8%	・毎月療育会が行われています。	毎月外部講師による保護者療育会も行ってあります。また行事予定表にも記載されているので、保護者への呼び掛けなどを入れていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				・しっかり共通理解ができていると思います。 ・満足しています。	保護者様と共通認識を持ち同じ方向性で支援していけるように努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96%		4%		・心配してお電話で話を聞いていただいたり、面談・合同会議が行われています。 ・満足しています。	モニタリングや担当者会議以外にも、必要に応じて面談を行い相談に乗っております。臨床心理士の先生による相談会も毎月行なっておりますので、いつでもご相談に乗れる体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				・たくさん助けていただいています。 いつもありがとうございます。 ・満足しています。	全職員で同じ方向性、共通認識を持って療育支援に取り組んでおります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	52%	8%	12%	28%	・ゴミ拾い活動、どんたく、療育会などで、交流の場はたくさんあると思います。 ・現時点では週末のみの利用で、兄弟児のクラブなど交流出来る機会を作っております。今後も交流の場を作っていく、保護者へ周知できる環境作りも行っていきます。	保護者会の開催は現在ありませんが、どんたくへの参加、地域のごみ拾い、保護者を交えたバザーなど交流出来る機会を作っております。今後も交流の場を作っていく、保護者へ周知できる環境作りも行っていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92%	4%		4%	・相談や子どもの事で心配な事など、素早く対応してくれました。 ・満足しています。	随時相談には親密に相談できる体制を整えております。1人1人の人生に携わっている意識を持ち、支援者としての責任・義務を果たすべく日々努めております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				・とても配慮がされています。 ・満足しています。	相談しやすい環境、相手である事は非常に重要な事だと考えております。出来る限りの配慮を考え対応をしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	80%	4%		16%	イベントの写真などももらってます。	毎月行事予定を配布しており、不定期ですがHP上で様々な活動や評価表など発信しております。アップされた際は保護者へ周知していくなど取り組んでいきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	4%		4%		児童の情報などの漏洩がないように細心の注意を払い管理しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80%	4%		16%	・毎月いろいろな防災訓練、避難訓練が 있습니다。 ・訓練の日があるかもしれませんが、利用日は重なった事がない為、分かりません。	各種マニュアルを策定しております。今後は契約時や訓練時に保護者へ周知徹底を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	84%	4%		12%	・毎月防災訓練が 있습니다。 私より詳しいです、子どもが、 ・訓練の日があるかもしれませんが、利用日は重なった事がない為、分かりません。	定期的に避難訓練・防災訓練を行っております。週末などには行っていない事も多いので、訓練の日程は今後調整しながら保護者へ周知していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84%	4%		12%	・安全はかなり確保されています。 先生もたくさんいるので安心です。 ・満足しています。	安全性を確保できる計画の作成や周知の徹底、前述の内容を踏襲した支援を徹底できています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	92%			8%	熱など体調が悪い時などお電話してお家にすぐ送ってくれます。	事故・怪我・体調不良などあらゆる不測の事態が起きた際は、迅速に保護者に対して状況報告をし、対応させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				・はい、いつも今日は何をやるのかな～(笑)と楽しく通所しています。 ・満足しています。	子どもが安心・安全に通っていただけのように今後も職員一同努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				・いつもかっこいいダンスを覚えて下さりありがとうございます。連曲を私たち親も楽しみにしています。 ・先生が大好きだから早く会いたいと言ってます。 ・満足しています。	イベントや将来の為にトレーニングなど様々な取り組みを子どもが楽しんで行えるように職員一同努めていきます。

29	事業所の支援に満足していますか。	96%	4%			<ul style="list-style-type: none">・はい！いつも子どもたちに、たくさんの優しい愛のある支援をありがとうございます。・満足しています。	今後も子ども、保護者共に満足していただけの支援を続けていきます。 当事業所の
----	------------------	-----	----	--	--	--	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		たけのこクラブ若久		公表日		令和 8年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	1階、中2階、個室と目的や利用人数に合わせて使い分けをしている。 静と動の活動の場所も分けながら対応している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	児童数に合わせて職員を必要よりも多く配置するようにしている。 職員の体調による欠勤にも迅速に対応できるような体制作りにも努めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	中2階への階段はあるが基本バリアフリーの造りになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々清掃と環境整備を行っている。活動に合わせた空間作りにも力を入れている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	子ども達の活動内容や特性、状況に応じて個室を使用できるようにしている。 また職員もその場に応じて対応出来るようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	毎月のミーティング内でもしっかりと話し合い、職員全員で取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員全員にもアンケート内容を周知し、話し合い機会を設け、今後の改善点に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月のスタッフミーティングに参加、職員との議論を行っている。 また日々の中でも療育後の話し合いも設けて改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	療育会や担当者会議などで他施設との関わりで意見を聞く機会を作り、支援に繋げている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	新人研修や毎月のミーティングを行っている。また年数に応じて外部講師による研修も行っている。 毎月のスタッフミーティングで各種対応の内容を話し合い、研修・訓練も行っている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムの内容に沿った支援を日々行っている。 その中でも個々の特性にあった支援を5領域の中から選択し活動に繋げている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い、職員間でも議論し、意見交換をした上で計画書を作成している。		

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎月のスタッフミーティング内で児童の支援についての議論が行われており、皆で共有し、最善の取り組みを決定している。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	作成した計画書をスタッフで共有し、計画に沿った支援内容を確認し合い、支援に繋げている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	発達検査の検査結果からの支援内容の把握、個々の日常の中から得られる支援内容を把握を確認し、支援に繋げている。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	デイサービスでの課題に必要な支援だけでなく、将来を見据えた観点から、本人・家族・その先の未来、今後生活していく上で本人と家族の関係性も考慮に入れながら、具体的な支援内容を設定して、家族の意向、本人の意向も踏まえながら取り組むようにしている。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	担当を決め、療育前、療育後の時間を使い、職員と話し合い機会を作っている。 また職員からの活動プログラム案があれば積極的に取り入れるようなチーム作りも行っている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	定期的にプログラムの入れ替えを行い、固定化しないよう取り組んでいる。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	担当者会議やモニタリング、職員との会議を行いながら、子どもの状況を把握し、目標に合わせた個別と集団活動の内容も加味して計画を作成している。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前に職員全員でその日の利用者を確認し、1日の流れ、対応や役割を話し合う時間を作っている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に職員全員で1日を振り返り、それぞれ気付いた点など意見を出し合う時間を作り、次の利用の際に気を付ける点なども共有している。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録の内容を職員で情報共有し、次回への取り組みに活かす事を心がけている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。また職員全員で情報共有している。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	1つの活動に偏らない活動内容で日々考えながら組み合わせさせた活動に取り組んでいる。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	洗濯場面の設定、一人一人の意思決定を尊重しながら、選べる支援活動に参加出来るような取り組みをしている。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画しており、利用者の状況を細かく伝えている。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	主治医からの診断結果、子ども・保護者との話し合いの内容など情報を共有し、その情報を元に支援できる内容を職員と話し合い、取り組める体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校からの引き渡し場所・方法は学校と話し合い、明確に決めている。下校時刻等は紙媒体や電子媒体で教諭できるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	必要に応じて行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	障がい福祉サービス事業所への移行前に各事業所と連携し、担当者会議で情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて、連携しながら対応を行い、職員への研修等も行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	88%	12%	どんたくへの参加、保護者を巻き込んだバザー、地域のごみ拾い、スボごみ大会など活動の幅を広げている。	交流の場に参加出来ていない職員や子ども達もいる。機会を増やしていき、全員が参加出来るように幅広く画策していく。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	100%	0%	協議会へ参加し、職員への情報共有も行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に利用時の状況を伝えながら、共通理解を持った支援を行っている。また来所された際には活動の写真や動画を見ていただき、現状を保護者へ伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	モニタリングの際に、家庭の様子を聞き取りながら、保護者の負担にならないような方法の提案等を行っている。毎月、保護者向けに臨床心理士の方の療育会も開催している。		
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	保護者との契約の際に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	計画書作成の際に、必ず保護者と面談を行い、保護者や子どもの意思を児童発達支援管理責任者が確認を行った上で、作成・提案からの支援に繋げるように努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	保護者の示しながら、丁寧に保護者へ説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者の話をしっかりと受け止め、関係職員にも意見を聞きながら支援を行っている。また毎月の職員会議にも事例として意見を仰いでいる。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	季節毎のイベントなどで父母も参加して、保護者同士の繋がりが出来る機会を作っている。	保護者への周知が行き届いてない所もあるので、HPやお便りなどで保護者へ情報伝達していく。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	素早く職員全員に内容を周知し、改善点を情報共有し、体制を整備した上で対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月、行事予定の配布を行っている。 HPにも不定期ではあるが活動内容の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	SNSやLINEなどのやり取りの中でも書き込み禁止にしておき、細心の注意を払っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	相手の意思・主張を尊重することを忘れず、丁寧に対応することを心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	76%	24%	事業所の行事に子ども達が通う学校の先生を招待などしている。	どんたくやバザーなどに地域の学校の先生に呼び掛け招待しているが、地域住民に周知出来るように取り組んでいく。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルをファイル管理して、閲覧できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画はいつでも閲覧出来るようにしている。またそれに沿った避難訓練・防災訓練も行っており、その他必要な訓練もミーティングの際に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	子どもの状況は、利用の際に児童発達支援管理責任者より職員全員へ周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギーについては面談の際に保護者より話を聞き、主治医の指示書の提出を求めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画に基づいた研修や訓練をスタッフミーティングや、計画に基づいた社員研修を行い、職員への周知、支援に繋げている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	避難訓練や避難場所の確認、避難した際の保護者への連絡手段等、児童の安全を最優先で動けるような取り組みをしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事例があったその日に作成し、各種マニュアルファイルに閉じて、職員で共有出来るようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎月のミーティングでも情報共有を行い、必要な児童・家庭があれば対応している。 マニュアルに沿った研修も行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	事業所内で予め身体拘束の取り決めを行っている。それを踏まえた上で、契約の際に保護者へ丁寧に説明を行っている。	